

二六〇年の伝統
時空を超えた幻想浪漫

新庄まつり

日本一の山車行列

国重要無形民俗文化財
ユネスコ無形文化遺産候補

SHINJO MATSURI THE 260TH ANNIVERSARY

260年祭

2015 8.24(月) 25(火) 26(水)

無料のスマートフォンアプリ「arisar (アライザー)」を今すぐダウンロード! この表紙にかざすと動画をご覧いただけます。



Downloadはこちら
App Storeで
arisar を検索



Downloadはこちら
Google playで
arisar を検索



神輿渡御行列巡行コース・山車行列運行コース



新庄まつり観覧席券

観覧メイン会場「新庄駅前ふれあい広場アビエス」

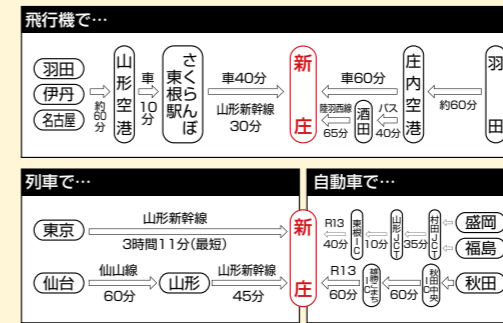
8/24(月) 宵まつり	スタンド席	2,000円
	スタンド席以外	1,500円
8/25(火) 本まつり	スタンド席	1,500円
	スタンド席以外	無料
8/25(火) 260年記念山車行列	スタンド席	2,000円
	スタンド席以外	1,500円

平成27年7月1日(水)発売開始
午前9時から午後5時まで電話受付

予約専用電話 (8/20まで) ☎0233-23-3915

※満席になり次第締め切ります。雨天中止および7月27日(月)午後5時以降のキャンセルは返金いたしません。

新庄へのアクセス



※JR新庄駅東口無料駐車場(1,000台)
 ※8月24-25日シャトルバス運行
 (陸上競技場・市民球場～新庄駅東口)

お問い合わせは—

新庄まつり実行委員会

〒996-0022 山形県新庄市住吉町3番8号(新庄商工会議所内)
 TEL.0233-22-6855 FAX.0233-22-6857
 ホームページ <http://shinjo-matsuri.jp>

新庄市商工観光課

〒996-8501 山形県新庄市沖の町10番37号
 TEL.0233-22-2111 FAX.0233-22-0989
 ホームページ <http://www.city.shinjo.yamagata.jp/>

新庄観光協会

〒996-0024 山形県新庄市多門町1番2号
 TEL.0233-22-2340 FAX.0233-22-2369



歌舞伎部門最優秀山車
風流「暫」 大正町若連

荒事の代表作として海外でも上演される「暫」は、歌舞伎の化粧、衣装の美学をすべて集積した演目としても有名である。場所は鎌倉八幡宮社頭、皇位へ即こうと目論む悪党の清原武衡が、自らに反対する加茂次郎義綱ら善人を捕らえる。清原武衡が成田五郎家来に命じて、義綱らを打ち首にしようとしたとき、「しばらく」と大声が発せられ鎌倉権五郎景政がさっそうと現れて助け、武衡の無道をとがめ威風堂々と帰って行く。

物語部門最優秀山車
風流 源平大合戦
「平家滅亡」
落合町若連

長きに亘る源平の戦いは壇ノ浦で最後の大合戦となった。初めは潮の流れを熟知していた平氏優勢であったが、潮の流れが変わると、義経軍はこれに乗じて平氏軍を押しまくり勝敗が決した。敗北を悟った平知盛は、投げた碇に引っ張られるように海へ身を投げ、二位尼(時子)は、「どこに行くのか」と問う安徳帝に、「極楽浄土へ参りましょう。波の下にも都がございます」と答え、安徳帝とともに海に身を投げ、平家は滅亡した。知盛の潔さに、弁慶は法螺貝を吹き、哀悼の意を表すのであった。



※最優秀山車はふるさと歴史センターに展示しています。

現代に甦る歴史絵巻 豪華絢爛山車二十台



8/24 宵まつり

- 奉納新庄囃子 午前8時30分～ 戸沢神社・護国神社・天満宮
- 新庄囃子合同演奏会 午前9時30分～ 駅前広場「アビエス」【観覧無料】
- 戸沢神社例大祭 午前10時～ 戸沢神社
- 灯入式 午後6時～ 南本町十字路
- 宵まつり山車行列 午後6時30分 南本町十字路出発



ゆめりあ展示山車
風流 浮世柄比翼稲妻「鞘当」 沖の町若連

8/25 本まつり

- 天満宮例大祭 午前7時～ 天満宮
- まつり行列出発式 午前8時30分～ 天満宮前広場
- 神輿渡御行列 午前9時 最上公園出発
午後3時～ 石川町ごきげん通り 通過予定
- 本まつり山車行列 午前10時 老人福祉センター前出発
- 新庄まつり260年記念山車行列 午後6時30分 歴史センター前出発



8/26 後まつり

- 護国神社例大祭 午前9時～ 護国神社
 - 小若連囃子演奏会 午前9時30分～ ゆめりあ「花と緑の交流広場」
 - 奉納 柔道大会 午前8時30分～ 新庄中学校体育館
 - 奉納 弓道大会 午前9時～ 東山武道館
 - 新庄まつり交流事業 燦踊祭 午前10時～ 駅前通りほか
 - 奉納 鹿子踊 午前10時～ 最上公園
 - 飾り山車 午後3時～ 駅前・本町・大町・中央通り
 - 街中鹿子踊 午後3時30分 南本町十字路
 - 手締式 午後5時～ 南本町十字路
 - 素人歌謡演芸ショー 午後6時～ きらやか銀行駐車場
- ※行事日程は変更になる場合があります。

新庄まつりは、藩政時代の宝暦六年(二七五六)、藩主戸沢正誼が、前年の大凶作でうちひしがれている領民に活気と希望を持たせ、豊作を祈願するために、戸沢氏の氏神である城内天満宮の「新祭」を領民あげて行ったのが起源とされています。まつりは、古式ゆかしい神輿渡御行列、歌舞伎・歴史物語の名場面を見事に表現した豪華絢爛な二十台の山車行列など藩政時代をしのばせる歴史絵巻が繰り広げられます。また、山車行列を盛り上げるお囃子も見どころの一つです。

二十四日の宵まつりは、山車に照明が入り、光と影が織り成す幻想的な山車行列が行われます。二十五日の本まつりは、総勢二百名の神輿渡御行列が新庄城址にある戸沢神社を出発します。足軽の息のあった足さばきや傘回しの妙技など数多くの見どころがあります。神輿渡御行列に続く山車は、夏の日差しを浴びて鮮やかな色彩を放ち、その豪華さと迫力は圧巻です。また、今年、「新庄まつり二六〇年記念山車行列」の夜間運行も行われます。

最終日の後まつりは、新庄まつり交流事業として「燦踊祭」が行われます。岩手県盛岡市のさんさ踊りなど各地の祭りを見ることが出来ます。また、新庄北部に古くから伝わる五穀豊穡を祈願する全国的にも珍しいカモシカを模した、県無形民俗文化財の萩野鹿子踊と仁田山鹿子踊を見ることが出来ます。

新庄まつりの最後は、飾り山車として街中に二十台全ての山車が集結し、新庄の夏は、まつりの幻想と興奮でフィナーレを迎えます。

※ユネスコ無形文化遺産候補
平成二十六年、新庄まつりの山車行事を含む日本の山・鉾・屋台行事(全国三十三件)がユネスコ無形文化遺産の候補として国連教育科学文化機関(ユネスコ)に一括提案されることが決定しました。山形県内では、新庄まつりのみ候補となっています。審議は、平成二十八年に行われる予定です。